

生命を躍動させて、積極的な排毒を！

プハン体験  
できます！

# バイオヘルスで デトックス講座 2019

デトックスするには、生命力が必要です。  
まずは生命力をアップさせる食・身体・心の変え方を学び、  
デトックス、体調の回復、体調の改善、そして、その実現のため  
のあなたの「判断力」を磨く方法を学びましょう。

## ① 10:30 ~ 12:30 基本編 (バイオヘルス講義+プハン体験)

バイオヘルスとはなに？からはじまり、マクロビオティックとの共通性  
など、基本的な考え方をお話します。  
後半はプハンを皆さんで体験していただきます。

## プハンとは *puhang*

吸い玉(カップリング)とも言います。  
エステや治療院でも行なっていますが、  
ご自宅でする方もいます。

## ② 13:30 ~ 16:30 実践編 (カウンセリング&バイオテスト)

毎回参加するたびに、体調がぐんぐん良くなる方法を学びます。また、  
ご自身の身体に合うもの合わないものを自分で選べるようになります。  
皆さんの相談を基に実践的に学ぶ講座ですので少人数制(8名まで)です。  
午前中から受講されると理解がより深まります。



日時 5月28日(火) / 7月15日(月・祝)

会場 日本CI協会 セミナールーム

受講料 ①②通し 会員 12,500円 / 一般 14,000円  
①のみ 会員 3,500円 / 一般 4,000円  
②のみ 会員 10,000円 / 一般 11,000円

※当日、①を受講されて②も受講される場合、通し料金との差額でご受講いただけます。  
※②は2回目より50%OFFで受講できます。

持ち物 ①手ぬぐい(またはタオル)2枚  
②ご自分に合っているかを調べたい化粧品やサプリ、食品など  
をお持ちください。

講師 望月佐知子

有限会社デボル 代表取締役。  
プハン普及会 会長。  
1963年生まれ。思春期より原因  
不明の脊柱側彎症に悩まされる。  
学習熱が高じて鍼灸指圧マッサー  
ジ師免許取得。プハン普及活動  
17年。興味は、限界なき排毒力  
と生命力の秘密探求。現在、両親  
の介護中。



ご予約のうえ、下記口座へ受講料をお振込みください。

原則、郵便局でのお支払をお願いしております。会員の方は、郵便局用の赤枠の払込用紙をご利用ください。(手数料がかかりません)  
郵便振替口座:00100-3-194125 加入者名:日本CI協会 通信欄に日付と講座名を明記ください。

お問合せ&お申し込み

日本CI協会 東京都目黒区東山三丁目1番6号 電話:0120-306-193 www.ci-kyokai.jp

# マクロビオティックの体質改善を後押しする方法

マクロビオティックを一生懸命やっても、なかなか調子が良くなりません。もっと早く良くなりたい人に、是非お試しください。それが、アレです(笑)。

数年前のことですが、当時20代後半の女性が、私の講座にやってきました。彼女は、マクロビを師範コースまで学んだ人でした。しかし、子供の頃から倒れては点滴を打つほどの虚弱体質、さらには20歳代で子供を産んだ後、子宮癌になってしまいレーザーで焼いたほどの体調の悪さは、なかなか改善しなかったそうです。

「マクロビと一緒に学んでいた教室の友人達は、どんどん元気になっていくのに、自分だけなぜ、元気になるんだらう？」  
彼女は困惑していました。

そこで私が勧めたのは、アレ……つまり、**プハン**です。**プハン**で行なうのは、とても簡単なこと。皮膚を吸引して刺激することだけです。しかし、この単純な刺激が、人間最大の臓器である「皮膚」を活性化するので。

皮膚の機能は西洋医学ではあまり知られていません。しかし、自然医学でマクロビの指導を40年行なっている医師、森下敬一先生によると、**皮膚は体の細胞の新陳代謝を担っている人間最大の臓器**とのこと。つまり皮膚を活性化することで、新陳代謝も滞りがなくなり、どんどん元気に体に変化していくのです。

## 元気になるのが楽しい。

**プハン**をし始めてから、彼女の体調は確実に変わっていききました。まず、だるさが減っていき、体がだんだん軽くなっていききました。それまでは、電車に乗って外出するのも無理だった体調が、会社に勤めて、仕事をできるまでに回復しました。

もともとマクロビをしっかりと実践していたため、体が良い方向に変わる下地はできていたのです。皆さんも、マクロビでつくった体の基礎を後押ししたい場合は、是非、**プハン**を体験してみてください。



まーくん(5歳)も、興味津々

**プハン**は、自分で簡単に行なうことができます。こんなに簡単で、気持ちよいことを、私は他に知りません。是非、毎日の習慣に取り入れてください。ちなみに、私はちょっと疲れた時に家族でやりあっこしています。

講師：望月佐知子



17世紀の貴族もプハンで  
体調管理をしていた

## 生の声

当講座を受講した方の  
感想です

湿疹の出ている所をプハンで吸うと、**直後から楽**になりました。プハンの威力がわかりました。ついでに、**顔のむくみがひいて**すっきりしました。うれしかったです。

兵庫県 馬場信子様

故安保徹先生の「新がん革命」を読んで、すぐにプハンを注文いたしました。まず、最初に自分の痛いところに、説明書にあるとおり7~8分付けました。そうしたら、20年ほど前から右腕の肘の上がずっと痛かった、その**凄い痛み**が、たった一回のプハンで取れてしまいました。

新潟県 笠原初恵様

今、ずっと冷たかった背中がポカポカです。最初がこれでしたら、今後、**希望が持てます**。有難うございます。

東京都 A.Y様